

団体名	予防カフェ・松が丘連合自治会・宗方台自治会
<p>1 事業内容について            事業名 : ディスカバー オレンジサイン プロジェクト            実施期間 : 令和5年7月1日～令和6年2月29日</p> <p>「ディスカバー(discover)」気づく、知る、分かる、理解する。「オレンジ」オレンジサポーターの目印リングの色、大分県自主防災士ジャケットの色。「オレンジサイン」認知症と「防災」のサインとして、いち早く気付くようにとの強い思いを込めて事業名にしました。</p> <p>高齢化に伴う独居世帯や老々世帯の増加、認知症問題、地域内コミュニティの減少などの問題が校区内に増加傾向にありました。自治への参加率の低下など、これまでも自治会の皆様も様々な活動を通じて頑張ってきておりましたが、今回の事業は、新たな視点や切り口が出てくるのでは？と、両自治会長バックアップのもと様々な挑戦をさせていただきました。</p> <p>また、当初計画よりも数多くの講座や疑似体験ができたのも校区内の団体、役員の皆様のご協力を頂けたからこそでした。7月～両自治会長の声かけで各団体の方々へ協力依頼をしていただきました。校区の年度計画にこの事業計画を加えていただきました。</p> <p>8月～夜間/屋外防災講座・体験会では、いつのも公園が避難場所になる想定をしました。暗闇や夜間トイレ、夏の公園は虫刺されも問題に。</p> <p>9月～防災月間/世界アルツハイマーデーという月もあり、防災士研修会、防災の中で認知症と寄り添ういのちの講座、認知症予防体操を開催。様々な講座の中に防災用品体験も兼ねました。また、子ども食堂防災講座、東植田民生委員協議会講座、寒田自治会講座を行いました。</p> <p>10月～評議委員研修、オレンジカフェ開催、聞き(聴き)かた講座。目の前の人の言葉だけでなく、態度や表情から聴くことを学び知りました。その他、田尻地区自治会や横瀬小学校育成クラブで講座を行いました。</p> <p>11月～認知症VR体験、認知症ワークショップ等では、認知症の方の本人視点で見える世界の違いを感じることができました。認知症の方がどんなことで困っているのか？認知症の人にとっての暮らしやすさを地域の強みに変えていくことが重要です。その他、西小深江自治会で講座、寒田地区避難訓練を行いました。</p> <p>12月～校区内の空き部屋を開設し、オレンジカフェを開催。3件の認知症に関わる相談がありました。早急な連携で家族との連絡も取れ対応できました。その他、宇佐支援学校との協議、津留小学校と豊後高田育成クラブで講座を行いました。</p> <p>1月～初地域協働小学校避難訓練。発災時、学校が避難所になるとどんなことが起こるのか？どうやって命を守るのか？全体訓練では学校にいるときに地震が起きたらどうなるのかを動画で様々な視点から課題を出すこと、情報の共有が図られました。</p> <p>2月～オレンジカフェ開催。その他、蕨野自治会と別府市大平山ひとまもり・まちまもり協議会で講座を行いました。</p> <p>今年は校区内にキイロスズメバチの巣が3件発見されました。1つは巨大なキイロスズメバチの巣で、被害が出るも時間の問題でしたが、自治会長の早急な対応で駆除できました。</p> <p>この事業を通じて、様々な逃げ遅れ(逃げられない)原因・課題があることが分かりました。中でも個人情報取扱いについての意見の相違が大きな課題です。今後、これらの課題について、更なる話し合いや連携をとる必要があると感じています。また、この校区に防災士協議会が設立されるとともに、新設の特定非営利活動法人EPPとの連携が図れるのは校区の強みだと思います。</p> <p>宗方校区内での認知症・防災講座等は22回開催し、1,560人の参加でしたが、予防カフェ全体では、44回開催し、2,553人の参加をいただきました。</p>	
<p>2.事業を実施している様子</p> <p>◇宗方台夜間防災講座・体験会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

◇認知症と命の講座



◇認知症VR体験



◇空き部屋避難所準備・開設



◇認知症・防災講座



◇宗方小学校地域認知症ワークショップ



◇宗方小学校避難訓練・防災講座(5年生)



### 3 事業終了後の活動について

この事業での課題を共有していきます。また、今年度校区防災協議会が設立され、より実践的な取組に進んでいけると思います。デッドラインを生き抜く校区防災力(ひと・もの・こと)を構築していき、知っているからできているへ。

横のつながりを強化し、助けてと言える顔馴染みの校区力を形成する一助へと繋げていきたいと思ひます。逃げ遅れ、その原因に気づき取り組んでいける活動をしていきたいと思ひます。

予防カフェは大分県防災アドバイザーとして、疑似体験を通じて認知症・防災に特化した活動を大分県内に発信していきます。大分県災害死者数ゼロに向けて。